

「小野小学校 学校再開 学びの保障」プロジェクトⅢ

令和2年9月16日(木)

大和町立小野小学校

校長 手代木 吉之

初秋の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のことと存じます。

さて、9月に入り、子供たちも新しい学校の生活の様式にも適応し、8月31日(月)からは全学年で45分授業(ノーチャイム)で学校生活を過ごしています。今月から5年生の花山野外活動(日帰り)や、各学年のバスを利用する校外学習も予定されています。

今後も、子供たちの安全・安心を最優先し、感染症予防に努めながら学校運営を進めてまいりますので、保護者の皆様には今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。

以下、8月6日文科科学省から出されたまた、学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2020.8.6 Ver.3 ※以下「衛生管理マニュアル」)と、現在の小野小学校の子供たちの生活の様子を総合的に勘案し、「小野小学校 学校再開 学びの保障プロジェクトⅢ」として、これまで活動内容を制限してきた音楽と体育の授業について、9月16日(木)より以下のように取り組みますので、お知らせいたします。

1 音楽活動を部分的に再開します。

これまで音楽の授業では、感染症対策のために声を出したり、楽器を演奏したりすることを行ってきませんでした。衛生管理マニュアルでも、音楽の授業の「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」として、

室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏

が挙げられています。これらの活動については、感染症対策をとった上で、地域の活動を踏まえて活動について検討することが求められています。

現在の宮城県内の感染状況を踏まえると、換気、身体的距離の確保や手洗いなどの感染症対策を行った上で、部分的に実施することが可能、と判断しました。

そこで、校内で検討し、以下のように音楽の活動を部分的に再開いたします。



(1) 歌唱指導

- 教室ではマスクを着用し、同じ方向で、ハミングまたは小声で歌わせます。(階名唱・リズム唱・タンギングなどに取り組みさせます。)
- 歌う時間や、合わせて歌う人数に配慮して指導します。(指導する曲を吟味し、列ごと班ごとに声を出させるなどの工夫をします。)
- 大きい声を出して歌うときや、全員で何回も歌うときは、児童同士の密を避け、音楽室、体育館、校庭で活動させます。

(2) 楽器の演奏指導

- 教室で、鍵盤ハーモニカやリコーダーを児童が練習したり演奏したりする指導は行いません。(新型コロナウイルス感染対策をしながら、楽器を使用することによる唾液の後始末を行うことができないためです。)

* 音を出して練習や演奏をする際は、校庭で行います。活動後は、校舎内に唾液が垂れないよ

うに、確実にケースにしまって持ち運びをさせます。鍵盤ハーモニカやリコーダーは、家に持ち帰り、家庭できれいに洗ってくるようにします。

- 必要であれば、音楽室から楽器（鍵盤ハーモニカ、リコーダーなど、息を吹いて鳴らす楽器は除く）を持ち出し、教室で使用して学習させます。但し、使う前と使った後に必ず手洗いを行わせます。（音楽の時間内に手洗いの時間を設定します。）

2 ボールを使った体育の授業を再開します。

これまで体育の授業では、感染症対策のためにボールを使った運動は行ってきませんでした。衛生管理マニュアルでも、「感染症対策を講じてもおお感染のリスクが高い学習活動」として、**体育における「児童生徒が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」**が挙げられています。音楽の授業と同じように、これらの活動については、感染症対策をとった後で、地域の活動を踏まえて活動について検討することが求められています。

そこで、現在の宮城県内の感染状況と子供たちの現状を踏まえ、感染症対策を行った上で、部分的に実施することが可能と判断しました。

(1) ボールを共用する学習を行う場合の基本

- ・ 授業の前後に、必ず手洗いをさせます。
- ・ 授業中、教師の指導のもとでボールを使わせます。（当面は授業のみ認めることとし、休み時間についてはこれまで同様ボールを使った遊びは認めません。）
- ・ 共用するボールは、指導者が授業の前後に消毒します。
- ・ 児童に対して、密集したり体を接触したりしないように常に声掛けします。

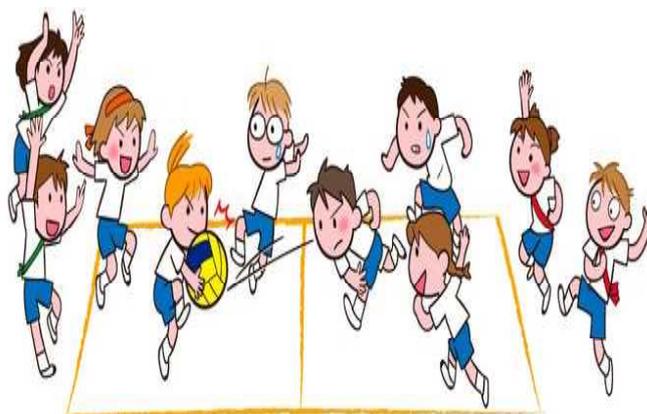
(2) 活動内容について

<ドッジボール>

- ・ ボールは学級に配給しているものを利用します。
- ・ 学年や学級の実態に応じて、1チームの人数を制限したり、コート of 広さを工夫したりします。

<サッカー・バスケットボール等>

- ・ 上記（ドッジボール）の対策案に加え、ゲーム時間を短く設定します。
- ・ 作戦などを話し合う場合は、マスクを付けさせます。
- ・ 学年や学級の実態に応じて、コート内で活動していない児童もゲームに参加できるように、チーム内でバディを組ませて、助言や応援をさせるなど工夫をします。その際、飛沫を防ぐために、児童同士の間隔を十分とり、身振り手振りを使った意思表示も使わせます。
- ・ 授業の前後はボールを消毒します。
- ・ 学年や学級の実態に応じて、1チームの人数を制限したりコート of 広さを工夫したりして、密集や密接を避けるようにします。



以上、主なボールを使った競技の場合を掲載しましたが、他の球技についても、体育の時間に限って教師の指導のもと、感染症対策を講じて授業を行うこととします。

（文責：主幹教諭 島貫 達也）

【お問い合わせ先】

- | | | |
|-----------------|------------|-----------|
| ・ 感染症対策全般に関すること | 教頭 徳田 修 | 教頭 安藤 真由美 |
| ・ 音楽の授業に関すること | 音楽主任 畠山 靖子 | 小野 純子 |
| ・ 体育の授業に関すること | 体育主任 渡邊 優 | 寺林 俊明 |